

第10回

## ビジネスの担い手 保険会社

執筆・講師 宮坂恵美子



### 学習のねらい

さまざまなリスクがひそむ社会において、“困ったときにはお互いに助け合う”という相互扶助を目的として保険制度は生まれました。まず保険のしくみを学びます。そして保険にはどのような種類があるのかを見てみましょう。さらに「新しい保険」として、コンビニで加入できる保険や、少額短期保険（ミニ保険）を紹介します。

調べておこう・覚えておこう

保険料／相互扶助／損害

※空欄  を「調べてみよう・覚えておこう」の語句で完成させましょう。

### 👉 Point ① 保険のしくみ

私たちのまわりには交通事故、盗難、火災、病気やけが、死亡といったさまざまなリスクがあります。そこで同じようなリスクの不安を共有する多数の人々は「保険団体」をつくります。保険団体に加入した人々はリスクの度合いに応じて「保険料」を出し合い、それを「準備金」として積み立てます。

そして保険団体の誰かに損害・保険事故が発生したときは、準備金から「保険金」が支払われます。以上が保険のしくみです。

この場合、保険事業を営む者を「保険者」といい、実際には保険会社がこれに当たります。保険者と保険契約を結び保険料を支払う者を「保険契約者（加入者）」といい、保険事故によって損害をこうむる者を「被保険者」といいます。また、保険者から保険金を受け取る者を「保険金受取人」といいます。

保険は 私たちのまわりにあるリスクに備え、経済的な不安を取り除くために、多数の人が協力し、 ① を目的として生まれました。

①は番組出題問題です。

## 👉 Point ② 保険の種類

保険は、大きく「普通保険」と「政策保険」に分けられます。

「普通保険」は保険会社がビジネスとして行っている保険で、「生命保険」「損害保険」「第3分野の保険」があります。

### ▶ 生命保険

おもに人の生死を保険の対象にした保険で、「死亡保険」や「生死混合保険」（養老保険など）などがあります。

### ▶ 損害保険

建物・家財・商品などの財産を対象とした保険で、「火災保険」や「自動車保険」などがあります。

### ▶ 第3分野の保険

けがや病気などの医療に関する保険で、「傷害保険」や「疾病保険」などがあります。

一方、「政策保険」は国や地方公共団体が政策を遂行することを目的とした保険です。政策保険には、私たちに身近な「医療保険」や「介護保険」などの「社会保険」があります。

普通保険には「生命保険」「**②** 保険」「第3分野の保険」などがあります。

②は番組出題問題です。

## 👉 Point ③ 新しい保険

最近はさまざまなリスクに対応した、短期で **③** が少額の新しい保険が登場しています。

③は番組出題問題です。

従来の保険は、保険代理店などに来店して加入していましたが、近年、より手軽に入れる保険が登場しています。

例えばコンビニで加入できるようになった保険に次のようなものがあります。

### ▶ 自転車保険

自転車乗車中の事故、けがなどによる損害を補償する保険です。子どもの自転車事故に備え保護者の加入が増えています。

### ▶ 1日レジャー保険

レジャーやスポーツ中のけが、他人にけがを負わせた場合の損害賠償、さらに遭難時の救援者費用も補償する保険で、1日単位で加入できます。

▶ 1日自動車保険

友人や親の車を借りて運転する日の事故による損害を補償する保険です。

さらに、「少額短期保険」、通称「ミニ保険」と呼ばれる新しい保険が注目されています。ミニ保険はインターネットで手軽に加入手続きができ、手ごろな保険料で入れるものが多くあり、例えば次のようなものがあります。

▶ ペット保険

ペットが病気やけがで診療や手術を受けた場合に、かかった費用を補償する保険です。

▶ 結婚式保険

急な病気や災害などによって、結婚式をキャンセルする場合に、その費用を補償する保険です。

▶ チケット費用保険

急な仕事、病気やけが、交通機関の遅延などでやむを得ずイベントに参加できなくなった場合に、チケット代金を補償する保険です。

近年、保険会社は「安くて手軽な保険に加入したい」という消費者のニーズに応え、コンビニで加入できる保険や少額短期保険（ミニ保険）の提供を始めました。

このように今後、消費者のライフスタイルに合わせた保険、人それぞれのリスクやニーズに合わせたパーソナルな保険が、次々と登場してくることでしょう。そうなれば保険はより身近なものになってくるのではないのでしょうか。

解答欄

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_

複製③ 印刷② 写真互換① : 2景

このページの文書・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。